

教科名	美術	科目	美術	週授業時間	1.5 時間
-----	----	----	----	-------	--------

1. 教科書および副教材・参考書

美術 1（開隆堂出版）

2. 授業の目標および内容

美術活動を通して、創造の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てます。

鉛筆や絵の具など画材についての知識、用具の扱い方、造形要素、色彩について実習を通して学び、表現意図に応じて応用工夫する基礎的スキルを身につけます。

美術家の作品や生徒の作品を常時展示する環境と授業の講評会や教材ビデオによって、鑑賞に親しむ柔軟な心とゆとりのある気持ちを育てていきます。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 なし	二次 なし	一次 なし	二次 なし	期末 なし
学力試験	第 1 回 なし		第 2 回 なし		第 3 回 なし

内容・難易度について

① 定期試験：無

② 学力試験：無

4. 課題・補習について

状況に応じて課題・補習がある場合があります。

5. 評価の視点

講評（言語化・文章化）や制作時間中の「言葉がけ」、また「参考」として作品を全体に紹介する等の評価活動をします。

観点別評価では、美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力を A B C 3 段階で学習状況が評価されます。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>美術との出会い</p> <p>絵の具と色彩 I 画材・道具の使い方 バッグのデザイン</p> <p>芸術鑑賞 (0.5 時間)</p>	<p>さまざまな作品鑑賞を基にデザインとは何かを考えます。</p> <p>・実習 アクリルガッシュを用いて、平塗りを練習し、課題の条件の中で自由に発想し、よく計画しながら制作します。 レタリング 平面構成</p> <p>芸術作品を鑑賞し、知識を深めます。</p>	<p>用具</p> <p>スケッチブック コットンバッグ アクリルガッシュ えんぴつ</p> <p>iPad</p>
2	<p>絵の具と色彩 II 画材・道具の使い方 水彩画</p> <p>デジタルアート</p>	<p>画材の説明と用法について学びます。</p> <p>・実習 透明水彩パレットの使い方、筆の使い方を学びます。 身近なもののスケッチから始め、屋外スケッチに移行します。 構想画（素描～下絵～本画）の過程を経験します。</p> <p>コンピューターグラフィックについて学びます。</p>	<p>用具</p> <p>スケッチブック アクリルガッシュ えんぴつ</p> <p>iPad</p>
3	<p>画材・道具の使い方 鉛筆デッサン</p>	<p>古典的な美術作品から、現代の多様な表現まで、さまざまな種類の美術作品を鑑賞し、美術の奥深さとおもしろさを学びます。</p> <p>・実習 鉛筆の削り方に始まり、点・線・面を描いて作品化しながら鉛筆の描き味を楽しみます。ものの捉え方の基礎と</p>	<p>用具</p> <p>スケッチブック 画用紙ボード デッサン道具</p> <p>・鉛筆 ・カッターナイフ ・消しゴム ・練りけし</p>

		して幾何形体を描きます。また調子のつけ方について学び、立体感のある鉛筆画を目指します。	
	芸術鑑賞 (0.5 時間)	芸術作品を鑑賞し、知識を深めます。	iPad